





(新着情報)

貸切バス事業者のみなさま

12月から順次、ドライブレコーダーの装着と映像の記録・保存、及び記録を活用した指導・監督が義務付けられます。該当する車両への装着や指導・監督等について、適切に実施願います。

指導・監督の実施にあたっては、『ドライブレコーダーの映像を活用した指導・監督マニュアル』をご活用ください。

※ドライブレコーダーの映像を活用した指導・監督マニュアル

→ <http://www.mlit.go.jp/common/001211423.pdf>

また、装着や指導・監督が必要となる期日等について、詳細は下記【参考】の各資料にてご確認いただけますが、概ね以下のとおりとなります。

#### 1. ドライブレコーダーの記録を利用した指導・監督の導入

平成29年12月1日より、ドライブレコーダーを装着している自動車の運転者に関して、この記録を利用した指導・監督を義務付け（合わせて、初任運転者等に対する実技訓練以外の指導及び監督の実施時間を6時間以上から10時間以上とする。）。

#### 2. ドライブレコーダーの装着及び記録義務

①平成29年12月1日以降に新規登録を受けた新車について、ドライブレコーダーの装着及び記録の保存を義務付け。

②平成31年12月1日より、使用過程車（平成29年11月30日以前に登録を受けた車両。）についても①の内容を義務付け。

③平成29年12月1日において既に装着されているドライブレコーダーであって性能要件告示で定める一定の要件を満たすものは、平成36年11月30日までの間、これを使用してもよい（満たさないものの使用が認められるのは平成31年11月30日まで。）。

※よって、平成29年12月1日以降に、性能要件告示で定めるいずれかの要件を満たしていないドライブレコーダーを使用過程車に装着する場合、これの使用が認められるのは平成31年11月30日までとなる。

#### 【参考】

※平成28年11月17日報道発表

『貸切バスの安心・安全な運行のため、運転者への指導・監督を強化します～貸切バス事業者の運転者に対して行う指導及び監督の指針の一部改正等について～』

→ [http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02\\_hh\\_000272.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000272.html)



